

# 食道癌（進行・再発）1st Line FP-R T療法(1000/75)

患者ID: @PATIENTID RT: 1.8 Gy × 28回 (50.4 Gy)

患者氏名: @PATIENTNAME

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m <sup>2</sup> )
HEIGHT01_Doc	\$WHEIGHT01_Doc	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース 28日間

使用基準: class A

指示1: 尿量測定 毎日

指示2: 体重測定 毎日起床時

指示3: 利尿剤投与指示 以下条件でフロセミド1A iv

Day1 開始から21時(約10時間)の尿量 ≤ 800mL

Day2 治療開始より24時間までの尿量 ≤ 2000mL

Day3~終了翌日 治療継続中における24時間の尿量 ≤ 1500mL

化学療法開始直前と比べて2kg以上の体重増加があり、利尿剤未使用

注意: Day5以降も水分摂取が少ない場合や尿量が少ない場合には、輸液を考慮すること  
《使用薬剤》

シスプラチン; (CDDP): シスプラチン注(50mg/100mL/V、10mg/20mL/V)

フルオロウラシル: フルオロウラシル注(250mg/5mL、1000mg/20mL)

投与量:

薬剤	投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
シスプラチン	75 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1
フルオロウラシル	1000 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1~4

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day1 1月1日 (金) ※CVポートより投与場合は

コアレスニードルセットにセーフポートを接続して投与開始

時刻	側管	薬剤	投与量	注
0時00分	①	生理食塩液	500mL	2時間で点滴静注
1時15分	内服	アプレピタントカプセル	125mg 1×(1)	シスプラチン開始1時間前頃
2時00分	②	生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1A + デキサート 9.9mg		15分で点滴静注
2時15分	③	生理食塩液 700mL + シスプラチン	0mg	2時間で点滴静注 0.0mL
4時15分	④	ソリタT3号 500mL + フルオロウラシル	0mg	12時間で点滴静注 0.0mL
	④'	生理食塩液 500mL		2時間で点滴静注 (側管から④と同時に開始)
6時15分	⑤	ソリタT3号 500mL		2時間で点滴静注 (側管から④'終了後より開始)
16時15分	⑥	ソリタT3号 500mL + フルオロウラシル	0mg	12時間で点滴静注 0.0mL

Day2~4 1月2日 (土) ~ 1月4日 (月)

起床後 内服 アプレピタントカプセル 80mg 1×(2) 起床後

時刻	側管	薬剤	投与量	注
22時00分	①	生理食塩液 50mL + デキサート 6.6mg		15分で点滴静注 (側管から開始)
22時15分	②	生理食塩液 500mL × 3		6時間(2時間×3)で点滴静注 (側管から①終了後より開始)
4時15分	③	ソリタT3号 500mL + フルオロウラシル	0mg	12時間で点滴静注 0.0mL
16時15分	④	ソリタT3号 500mL + フルオロウラシル	0mg	12時間で点滴静注 0.0mL

Day5 1月5日 (火) (Day4 ④終了直後)

時刻	側管	薬剤	投与量	注
4時15分	①	生理食塩液 50mL		フラッシュ (側管から投与)

## REFERENCE

Bruce D. Minsky, Thomas F. Pajak, Robert J. Ginsberg, et al  
INT 0123(Radiation Therapy Oncology Group 94-05) Phase III Trial of Combined-Modality Therapy for  
Esophageal Cancer: High-Dose Versus Standard-Dose Radiation Therapy. J Clin Oncol 20:1167-1174, 2002  
第10回化学療法プロトコル審査委員会承認: 2009年10月28日 更新: 2016年7月14日